

# しんらん同人

No.591

3・4  
月号

浄土真宗本願寺派 誓願寺

〒171-0052 東京都豊島区南長崎1-3-8

【電話】03-3950-7828 【ホームページ】<http://www.seiganji-tokyo.jp/>

## 第一条

一 弥陀の誓願不思議にたすけられまいらせて、往生をばとぐる  
「ひとつ」「弥陀如来の誓願の不思議な働きにたすけられて  
「必ず浄土に生まれる人生を、

なりと信じて 念仏もうさんとおもいたつこころのおこると  
私は今現に生きていたのだと気付いて、「念仏を称えようと思いつ心が起きた時、

き、すなわち摂取不捨の利益にあずけしめたまうなり。弥陀の本  
「その瞬間に、弥陀如来のすべての存在を摂取つて捨てない利益を頂くのであります。」「弥陀如来の

願には 老少 善悪の ひとをえらばれず。ただ信心を  
本願においては、「老人も若者も、「善人も悪人も、「人を選ばれるということがありません。」「ただ、誰ひとり見捨て

要とすとしるべし。そのゆえは、罪悪深重煩惱熾  
ない弥陀仏の精神を、「受け取れるかどうか、肝心です。」「なぜならば、「罪が深く極悪な、煩惱の炎が

盛の衆生をたすけんがための願にまします。しかれば本願を信ぜ  
燃え盛る人間をたすけるための弥陀の本願だからです。」「ですから、弥陀仏の本願を信ずる

んには、他の善も要にあらず、念仏にまさるべき善なきゆえに。  
者は、「他に何の善行をする必要もありません。」「念仏にまさる善はないからです。

悪をもおそるべからず、弥陀の本願をさまたぐるほどの悪なきゆ  
「またどんな悪も恐れる必要がありません。」「弥陀仏の本願の妨げとなる悪など存在しないからです。」と、

えにと云々  
「このように聖人からお聞きしました。

今号では「歎異抄（たんにしよう）」全十八条のなかの第一条を掲載いたします。お時間のある時に是非「原文と訳文」を「声に出して」読んでみてください。

## われもひかりのうちにあり

誓願寺住職 古賀尚之

松下幸之助氏と稲盛和夫氏。いずれも自ら立ち上げた会社を、一代で世界的な優良企業へと育て上げた名経営者です。このお二人の間であった話です。

松下幸之助氏が講師として講演会に呼ばれ「幸之助氏が進めていたダム式経営」について話をされた。そのあと質疑があった時。参加者から「ダム式経営の要は何でしょうか」という質問があった。幸之助氏はしばらく考えて「それは、ダム式経営をしようと思うことです」と答えられた。

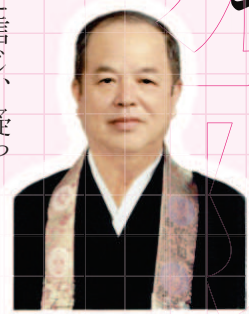
なにか具体的なノウハウが聞けるものと思っていた参加者から失笑がもれたが、稲盛さんは「そうか、思うことが大切なのか」と大きく感じるところがあったそうです。

ひごる聴聞している私自身を振り返ってみると「どこまで本当に真剣にそう思っているのかなあ」と考えさせられる事でした。



# よき人の仰せ

誓願寺前任職 故 岡本泰仁



ひらがなを覚え、一に一を足せば  
二になることを教えられ、それを素直に信じ、疑ったことがあるでしょうか。

年を取るにつれて、多くの漢字も書けるようになり、哲学、文学、芸能、どれ一つとっても教えられたものばかりです。

ところが今の私は、自分で考えて、行動し、他人さまにはお世話になっていない、と自負心が強く、頭を垂れて静かに聞く態度が失われつつあります。

「親鸞におきては、ただ念仏して弥陀にたすけられまいらすべしと、よき人の仰せをこうむりて信ずるほかに別の子細なくなり」ただ念仏して弥陀に助けられると信じられたのは「よき人の仰せをこうむって」のことでありました。

親鸞聖人の妻、恵信尼さまのお手紙に聖人が比叡山を下りて六角堂に参籠され、九十五日の明け方、本尊の観世音菩薩が聖徳太子と姿を現され示現にあずかったので、その暁、六角堂を出て「後世の助からんずる縁にあいませらん」と、法然上人に

お会いになった。

それから百日の間上人のもとに通い続け「生死出づべき道を、ただ一筋に語られた法然上人の仰せを頂き、誰が何と言われようとも、たとえ悪道（地獄）に落ちても良いとおもうようになった」と書かれています。

歎異抄にも「たとい法然上人にすかされ（だまされ）まいらせて、地獄におちたりとも、さらに後悔すべからず候」といわれています。

百日もの間、法然上人の許に通い続けられたお心持ちを私なりに拝察すると、上人の温顔から語られる如来の大悲に吸い寄せられる思いもあったと思いますが、反面それまでに自ら信ずることの出来ない、ぎりぎりの苦しい思いがあったに違いありません。わが力で考え、行じて仏になることができない、全くどうしようもない苦しい苦しい道があったに違いありません。この頑固な自力根性をぶち破ってくれたものが本願力であり、よき人の仰せでありました。

「弥陀の本願まことにおわしまさば、釈尊の説教虚言なるべからず。仏説まことにおわしまさば、善導の御釈虚言したもうべからず。善導の御釈まことなれば法然の仰せそらごとならん

# よき人の仰せ

や。法然の仰せまことなれば、親鸞が申す旨また虚しからばか  
らず候か」

如来の本願力がはたらきかけて、よき人の仰せとなったので  
あります。

念仏の衆生を撰取して捨てない、救うことが出来なければ、  
仏とはならないと誓い、五劫の思惟と兆載永劫の修行によっ  
て、この願を成就して南無阿弥陀仏の名号が仕上げられたので  
ありました。

「釈迦如来は慈悲の父母、種々の善功方便し、われらが無上  
の信心を発起せしめたまいけり」と和讃されていますが、よき  
人こそ善功方便の働きではないでしょうか。信ずることも出来  
ない、念ずることも出来ない私が、信じられ念仏させられるの  
は、全く如来の本願力にほかなりません。他力の信心とは、他  
力を信ずる心ではなく、信心が他力ということでもあります。

合掌

## 1月11日 新年懇親会 開催レポート

2026年1月11日の法座後に「新年懇親会」を開催いたしました。  
食事の後はゲームや出し物、カラオケをしたり・・・  
たくさんの方にご参加いただき、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

法座には大恩寺  
(八王子)より  
岡本信之師に  
お越しいただきました



出し物タイムでは  
小学1年生が  
鍵盤ハーモニカを  
披露しました



豪華景品が当たる  
くじ引き大会も  
ありました



くじ引き係  
がんばりました！

婦人会から  
サプライズで  
副住職結婚の  
お祝いを  
いただきました



ご法座等  
のご案内

どなたでもご自由に  
ご参加いただけます。  
参加費は無料です。



3月

3・8  
(日)

■午前十時〜  
定例法座

【内田正祥師(三重)】

■正午〜

医療相談

【佐藤公彦医師】

3・15  
(日)

■午前十時〜  
なかよしクラブ

(乳幼児から小学生までとその保護者)

3・22  
(日)

春の彼岸会

■午後一時〜

彼岸会・祥月命日合同法要

【文殊四郎琢磨師(大阪)】

4月

4・12  
(日)

■午前十時〜  
花まつり

【上野隆平師(京都)】

■正午〜

医療相談

【佐藤公彦医師】

4・19  
(日)

■午前十時〜  
なかよしクラブ

(乳幼児から小学生までとその保護者)

4・26  
(日)

■午後一時〜

定例法座・祥月命日合同法要

【文殊康明師(福井)】

編集後記



・故岡本泰雄の長女・藤田明子が一月十四日、行年八十八歳にてお浄土に旅立ちました。誓願寺で生前の歌声が流れる中、お別れを致しました。練馬区での慈善活動など皆様にはお世話になりました。ここに謹んでお知らせいたします。

妹である坊守が、「十四年前、福岡から誓願寺に帰ってきた時に、お姉さまから『恭子よく帰ってきたね。これから一緒にお念仏を広げるよう頑張ろうね』と声をかけられて、不安な気持ちが一掃され嬉しかったのに」と一言ボソツと話しました。



〔生前の藤田 明子 行年88歳〕

・ベトナムに行っていた長女家族が、子供の高校進学のため帰国しました。今は受験でピリピリしています。私たちもそれなりに気にしていますが何もできずただ待つだけです。忘れていた受験の夢を時々見ます。

